

真の賃上げで 26春闘勝利へ



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)

厚生労働省が昨年11月に発表した、9月の「毎月勤労統計調査」では、労働者の「現金給与」の総額は、前年同月と比べて1・9%増加、45カ月連続でプラスとなりました。しかし実質賃金は前年同月比で1・4%減少し、9か月連続のマイナスとなっています。賃上げが物価上昇に追いついていない実態が明確に示されています。



一方、財務省が9月に発表した「法人企業統計調査」では、2024年度の労働分配率は1973年度以来、5年ぶりの低水準となり、結果、内部留保は史上最高の600兆円を超えています。

郵政ユニオン
第14回
中国地方委員会 &
2026旗開き
1月24日(日)

2025年度の最低賃金は、すべての都道府県で1000円以上、全国加重平均が1121円となりましたが、安心して暮らせる金額ではまだまだありません。25春闘で郵政は、正社員は

賃上げがありました。が、時給制契約社員は全くのゼロでした。最賃闘争も大事ですが、春闘期での時給引上げを勝ちとるたにかいが何より重要です。



郵政ユニオンは2月6日中央委員会を開催し、26春闘の方針を確立します。

物価高騰を上回る大幅賃上げと非正規社員の均等待遇実現と正社員化、正社員の待遇引き下げを許さないたたかいを、他産業や地域の仲間と連帯しながら、支部も全力で26春闘を取り組めます。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!